

平成 27 年 第 4 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成 27 年 4 月 23 日(木) 午後 2 時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員長、一盃森広志委員（職務代行者）、吉田いづみ委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 鈴木邦弘、学校教育専門監 千葉 英一
- 5 開 会 午後 2 時

6 平成 27 年第 3 回教育委員会定例会会議録の承認について

- | | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一盃森委員 | 1 ページ 7 番の前回会議録の承認について、「1 クラス 3 割が上限ですが」とありますが、「1 クラス」ではなく「各高校の募集定員に対して」にしてほしい。「・・・各高校において 1 クラス 3 割が上限ですが」も「各高校の普通科において 3 割が上限ですが」に訂正してほしい。コースや高校の種類によって合格の割合の差はあるがイメージとしては大体 3 割であるということ。 |
| 吉田委員 | 12 ページ 12 行目「ディベートも頑張っていたようです。」とあるが、白石高校の授業の取り組みがジャッジのような内容ではない。小学校の時期に人の前で発表するディベートの授業を頑張っていたと当時の先生に聞いたもの。削除してほしい。 |
| 舟山委員長 | 11 ページ 14 行目「思っていりののですが。」を「思っているのですが。」に訂正してほしい。 |

以上一部修正を行い、他に誤記のないことを確認の上、舟山委員長、一盃森委員署名。

7 平成 27 年第 4 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について

- 舟山委員長 | 齋教育長、吉田委員を指名する。

8 教育長報告

(1) 一般事務報告

(説明者：教育総務課長)

報告第 4 号 平成 27 年度町立小中学校児童生徒数及び施設状況について

平成 27 年度町立小中学校児童生徒数及び施設状況についてご報告申し上げます。

資料は 1 ページから 2 ページである。

児童生徒数及び施設状況については記載のとおりである。

合計で、前年度比較では大河原小学校は児童数が 40 名減、学級も 2 クラス減。大河原南小学校は児童数 2 名減、学級数は増減なし。金ヶ瀬小学校は児童数、学級数も増減なし、大河原中学校は生徒数が

2名増、学級も2クラス増。金ケ瀬中学校は生徒数14名増、学級は1クラス増となっている。以上が4月1日現在の状況である。

(質 疑)

舟山委員長
学校教育専門監

小学校が減で中学校が増なのか。
大河原小学校は昨年の6年生が5クラスで、今年の6年生が4クラス。今年の1年生も4クラス。

舟山委員長
教育長
教育総務課長

子供の数が減っているのか？
微減である。
5月に転居があり大河原小学校から金ケ瀬小学校に転校する3年生5年生の児童があり、金ケ瀬小学校は6月から3年生が1クラス増えて2クラスになる予定である。

報告第5号 平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についてご報告申し上げます。

資料は3ページから4ページである。

要保護及び準要保護児童生徒数集計表である。

ここで大河原中学校合計について訂正がある。前年度合計7名から8名に訂正となる。

要保護児童は小中学校合計で前年度比1名減。準要保護児童は小中学校合計で前年度比8名減。

(質 疑)

舟山委員長
教育総務課長
舟山委員長
教育長

(対象児童数が減っているのは) 景気が良くなってきているのか？
所得オーバーは2名である。
特定の学校が多いのは地区の特性があるのか？
ある。

9 選挙

選挙第1号 委員長の選挙について

(質 疑)

教育総務課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行により、経過措置により施行の際現に在職する教育長は教育委員の任期中に従前の例により、平成27年4月において委員長の選挙を行うものである。

そして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第12条により、委員長は委員のうちから選挙し、任期は1年であると定めている。

舟山委員長
教育総務課長

大河原町では？
現教育長の任期は28年11月である。そのため、今回は4月で委員長の選挙を行う。

前年同様各委員の推薦により、舟山委員長、一盃森職務代行者の当選となる。

10 その他

(1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

資料は別紙資料である。大河原の先人集が完成した。学校教育専門監と編纂に携わった先生方のおかげである。500部印刷し、各学校50部配布。道徳の時間だけでなく町民の方々にも広げていきたい。

先週の日曜日、繁昌院において大河原青年会主催の「春の音色コンサート」が開催された。演奏者の育成は生涯学習課の課長補佐に尽力いただいている。10月開催予定の健康まつりで行われる「さくらっき体操」の作詞・作曲・体操を考えてもらう予定。

I 平成27年度大河原町の教育課題について

<学校教育>

1 学力向上

2 暗唱読本の活用 現在各学校で編成中。来年には使用できる見込み。

3 不登校の解消

宮城県は不登校全国ワースト1。大河原教育事務所管内は中でも多い。大河原中学校が不登校の割合が高い。だが、先日の始業式は欠席2名のみ。先生方の家庭訪問等努力の結果である。

奉仕体験を通して「誰かの役に立つ喜び」を感じさせたい。

4 防災教育の充実

各学校で蔵王が噴火した時を想定した訓練を予定。

蔵王少年自然の家の合宿について⇒各小中学校で蔵王少年自然の家の利用は今のところ見送り。

5 地域との連携

6 体力向上の充実 長寿社会を生き抜く体力づくり。

一般的に学力の高い子は体力も高い傾向にある。

7 「国際理解教育」の充実

南小学校中心。先人集を活用しながら、外国で自信を持ってふるさとを紹介。

8 ホームページの充実

校長名・在籍数・行事予定等 更新を直ちにしてもらいたい。

9 金ヶ瀬中学校体育館建設 27年度中の建設をすすめている。

10 給食センター建設

町として最優先の課題と考えているが、工事開始まであと3年はかかる状況。

技師も1名のため金ヶ瀬中学校体育館建設と並行するのは人的にも困難。

先日、窯が料理中に不具合をおこしたので急遽リースしている。

11 給食アレルギー対策万全に

12 ゲーム・携帯・スマホのより良い使い方

26年度は児童・PTAで使い方のルールを考えたが、まだ課題はある。

今年度も引き続き取り組み、「明日青のつどい」での討議パネルディスカッションを行う。

1 3 「教員免許状」「運転免許証」の有効期限確認

<社会教育>

昨年から生涯学習課の新規事業が次々と始まっている。人的限界もあるので教育総務課と連携をとっていきたい。

- 1 町民学園事業の充実
- 2 町民健康まつり実施
- 3 総合型地域スポーツクラブの設置 理事長の就任で関係改善の傾向
- 4 「絵本コーナー」充実
- 5 「歩きたくなるまち おおがわら」桜の苗木を植樹。コース拡充。
- 6 クロスカントリー大会充実
- 7 中央公民館の老朽化対策
- 8 中央公民館内の蝶の展示物を、有効に活用する。

II 学校経営に期待する

- 1 人事は4月から 全教員との面接実施
- 2 教頭、主幹教諭、教務主任、研究主任、学年主任、事務職員を学校の中核とし校長のよき理解者とする
- 3 不易と流行を使い分ける
- 4 地域を味方につける 連携では足りない

東京からの花見客に大河原中学の生徒の対応をほめられた。委員の方々にも地域で児童への善行やヘルメット非着用児童への声掛けをお願いしたい。

III 管内教育長会議から

- 1 宮城県教育基本方針
- 2 人事異動後の情報把握
- 3 教職員の事故防止
- 4 校長の教職員に対する指導と勤務状況の母区
- 5 指導主事学校訪問
- 6 その他

IV その他

- 1 職員の家庭生活を大切に
意識して家庭を大事にすることを管理職も声掛けしてもらいたい。
- 2 登校支援ネットワーク事業
不登校傾向児童（保健室登校）も対象に。

(質 疑)

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 舟山委員長 | 蔵王自然の家の代替候補先は？ |
| 教育長 | 各学校で、花山や、福島の磐梯、それから川崎のキャンプ場を検討している。 |
| 吉田委員 | 家庭生活を大事にというのは、管理者が呼びかけ続けることがとても良いと思う。 |
| 一盃森委員 | 朝晩の保育の預かり時間延長等、働く親の子育ての環境は大分整ってきている。 |

一盃森委員	不登校の問題。中1ギャップへの具体的な取り組みはあるのか。 小中の連携をもう少し早い時期から取り組めないか。小学校高学年から中学校の生活が分かるように。
教育長	児童の行き来だけではなく、小学校の先生が中学校で授業をし、中学校の先生が小学校で授業することを始めている。好評である。また、南小学校と大河原小学校と一緒に給食を食べたり、運動したりする機会を設けることで、小学校の時から友達ができるよう工夫したい。
教育総務課長	生涯学習課で小学校高学年のインリーダー研修で知り合う場を設けている。
教育長	以前は、「中1ギャップ」はほとんどなかった。
学校教育専門監	不登校になる生徒は、中学校になってから突然不登校になるのではなく、小学校からその前兆が見られる場合がある。 小学校から環境の変化などへの耐性を育てることも大事だと考えている。
吉田委員	スマホの影響も大きい。すごく手軽にコミュニケーションを奪ってしまう機器だと思う。大人への影響も大きい。
学校教育専門監	高校の学力状況調査で、スマホの使用時間が1時間を超えない生徒は、使用しない生徒より成績が良いという結果が出ている。一方で、2時間以上勉強しても1時間以上スマホを使うと学力が下がるとデータもあり、スマホを長時間使用すると勉強の効果が打ち消されていくのではないかという仮説も出ている。 スマホを使わせない教育ではなく、より良い使い方を小さい時から家庭でも声掛けをしていくことが重要だと思う。

(2) 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

五月の行事予定を説明申し上げる。資料6ページ~11ページである。

生涯学習課長 町民学園についてご報告を申し上げる。

教育総務課長 教育長の宮城県町村教育長会会長就任、並びに大河原町教育委員会が事務局になることをご報告申し上げる。なお来年度は東北大会の当番となることを合わせてご報告申し上げる。

1 1 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員長 次回の定例会は、平成27年5月26日(火)午後2時から開会する。

1 2 閉会宣言 午後3時38分

平成27年5月26日

署名委員

署名委員